

Q1 他のデンタルケア商品と違う点がありますか？

A 「ナノウエル オーラルケア」は、歯ブラシを使用しない方法で口腔内の洗浄をすることを目的に開発された商品です。ナノ化された大豆油脂脂肪酸の洗浄力により、歯周病の原因の一つである歯垢を洗いながすことで、口腔内環境を清潔に維持することが期待できます。他のデンタルケア商品は、口臭予防、口内の抗菌、歯磨きペーストの代わりなどの目的の商品が大半で、歯磨きの代わりに口腔内洗浄を目的のデンタルケア商品は『ナノウエル オーラルケア』になります。

Q2 使用についての注意点はありますか？

A 現在、口腔内にトラブルがありますか？ あれば、動物病院で口腔内の治療をお受けください。しっかりした原因治療をした上で、ナノウエル オーラルケアを併用することで、成分の大豆油脂脂肪酸の作用により、歯垢や歯石の再付着を抑制し、口腔内の細菌数を減少させ、口腔内の環境の維持が期待できます。

Q3 どのくらいで口臭が軽減されますか？

A 朝晩目安3滴ずつ、1日2回口腔内に投与し、洗浄してください。目安として4～5日で軽減し、かすかな臭いは残りますが、半月から1ヶ月で、ほとんど口臭は軽減されます。強い臭い場合は、朝晩3回こまめに投与してください。

Q4 歯石はなくなりますか？

A 歯石を除去する作用はありません。しかし、動物病院で歯石を除去後に使用していただくと歯垢を洗浄し、歯石の再付着を抑制します。

Q5 原料は「大豆油脂脂肪酸」との事ですが、大豆アレルギーの問題はどうなんですか？

A 大豆アレルギー、残留農薬、遺伝子組換えは全て大豆タンパクに含まれ、大豆油脂脂肪酸を精製する時に大豆タンパクを除去するために、一切問題ありません。遺伝子組換え大豆は使用していません。

愛玩動物用口腔内洗浄液投与前後における犬の口腔内菌数測定結果

減少率
94%

試験方法 犬2頭に1週間、朝夕愛玩用口腔内洗浄液を滴下し、滴下前後(最終滴下後2時間)の好気性及び嫌気性の1スワブ当たりの総菌数を比較する。
株式会社京都動物検査センター データ

犬番号	検査部位	好気性菌数(CFU/スワブ)		検査部位	嫌気性菌数(CFU/スワブ)	
		pre	post		pre	post
1	右上	2.1×10^7	4.0×10^2	右下	8.8×10^7	2.1×10^2
	左下	6.8×10^6	9.3×10^5	左上	5.5×10^6	1.1×10^2
	平均	1.4×10^7	4.6×10^5	平均	4.6×10^7	1.6×10^2
2	右上	3.9×10^6	1.9×10^5	右下	4.4×10^6	4.1×10^2
	左下	1.2×10^7	2.8×10^5	左上	1.6×10^7	5.2×10^2
	平均	8.0×10^6	2.4×10^5	平均	1.0×10^7	2.1×10^2
合計平均		1.1×10^7	1.4×10^5		2.8×10^7	1.0×10^2

用途・効果

- 動物の口腔内の洗浄・抗菌・消臭。
- 継続的に使用することで、成分の大豆油脂脂肪酸が作用して、歯垢や歯石の再付着を抑制し、細菌を減少させ、口腔内環境の維持が期待できます。
- 口腔内のトラブルや口臭の原因となる要因を抑えます。
- スクレーピングをして、歯石を取り除いた後に使用することで、より一層の効果が期待できます。
- 歯の表面に大豆油脂脂肪酸がコーティングされ、歯に光沢を与え、歯垢や歯石が付着を抑制します。
- 口腔内の粘膜を保護します。
- 歯茎にマッサージ効果を与えブラッシングする必要はありません。

安全性

主成分の大豆油脂脂肪酸は、安全性試験(急性毒性試験・皮膚刺激性試験・目刺激性試験)に於いて、安全であることが確認されています。
(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻実験動物学教室データ)

品名

ナノウエル オーラルケア(愛玩動物用口腔内洗浄液/猫用・犬用)

猫用成分

精製水、大豆油脂脂肪酸、トレハロース、グリセリン、増粘剤、ステビア、カラメル、水溶性コラーゲン、ヒアルロン酸Na

犬用成分

精製水、大豆油脂脂肪酸、トレハロース、グリセリン、増粘剤、ステビア、水溶性コラーゲン、ヒアルロン酸Na、茶葉エキス

※猫用・犬用の違いは、主に洗浄液の粘度になります。なので犬猫の好みにより、猫が犬用を、犬が猫用を使用しても問題ありません。

容量

20mL (1滴約200回分)

原産国

日本

使用方法

- 朝晩目安3滴ずつ、1日2回口腔内に投与し、洗浄してください。1日目安6滴(約1ヶ月分)
- ※動物の大きさ、状態などによって、回数、使用量、使用間隔を調整してください。
- ※特長(消臭)を早く実感して頂く為に、最初は朝昼晩とこまめに使用することをお勧めします。

使用上の注意

- 他の口腔製品と併用しないでください。
- 使用後、健康状態に異常がみられた場合は使用を中止し、獣医師の診断を受けてください。

保管及び取り扱い上の注意

- 直射日光、高温多湿を避け、室温で保存してください。
- 天然原料につき沈殿物が生じたり、濁る場合がありますが、品質には問題ありません。

井直商事株式会社

〒659-0012 兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町4番7-305

TEL 0797-23-2663

<http://inaocorp.co.jp/ws/>

<http://www.facebook.com/inaocorp/>

愛犬・愛猫のデンタルケア、 気になりますか？

— 愛玩動物用口腔内洗浄液 —

nano well

オーラルケア
for CAT for DOG

健康の基本は、まず口腔内のケアから!!



inao corporation

[2017.01]

nano well

— 愛玩動物用口腔内洗浄液 —

ナノウエル オーラルケア forCAT / forDOG

オーラルケア for CAT

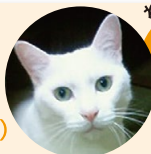
オーラルケア for DOG

愛犬・愛猫の口腔内の洗浄・抗菌・消臭に。
愛犬・愛猫の日常のデンタルケアに。



ケアの簡単さが 何よりです！

大阪府 ゆきボンちゃん(オス7才)

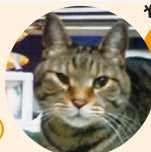


ねこちゃんの
飼い主
さまの声

数年前に、口臭がして、歯茎が赤くなり、歯石を取りました。なかなか赤みは、消え切りませんでしたが、「ナノウエル オーラルケア」を知ってからは、勿論、ケアして、今は赤みも口臭もなく元気です。ねこちゃんは、口が触れない子が多いから、ケアできなくて、歯茎は赤くて汚れてます。そんな子でも「ナノウエル オーラルケア」ならできます。これまで、放置するしかなかった「触らせない子」にこそ、救いとなる商品だと思います。どんなに人なつこい子でも、毎日、歯磨きなんかできっこないのが現実です。ねこは多頭飼いが多いので、なおさらです。ケアの簡単さが何よりです。

口内のケアのために 毎日使っています！

大阪府 ななちゃん(オス11才)



ねこちゃんの
飼い主
さまの声

愛猫の歯茎が赤くなり、動物病院で診てもらったら、猫は、人間の虫歯のように見かけは進行が確認できるわけでもなく、歯ぐきの中で、悪化し、他の歯に進行していくとのことでした。以前、ものすごいタチの悪い症状で、愛猫を苦しませてしまった経験があるので、すぐに1本、抜歯をしました。ところが、3ヶ月後反対側の同じ位置の歯とキバの付け根が赤くなってきました。その時「ナノウエル オーラルケア」を知り、治療と並行しての使用と、治療後の口内のケアのために毎日使っています。今のところ、再発もなく健康に過ごせています。商品に感謝しています。

歯磨きの苦手な我が家の 愛犬には、期待大の商品です！

神戸市 琴音ちゃん(Mシュナウザー メス9才)

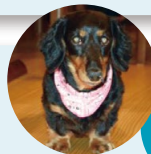


わんちゃんの
飼い主
さまの声

猫用で好評の「ナノウエル オーラルケア」犬用が出るということで、歯磨きが苦手な我が家の愛犬に使用させてもらいました。成分のナノ化した大豆油脂肪酸の作用である洗浄力が、歯磨きの苦手の子に使用して好評であるとか、口腔内の細菌を減少させることによって、口臭の軽減や口腔内環境が清潔に維持できるとの商品説明を聞き、まず1週間、毎日朝晩、使ってみました。びっくりです！口臭が劇的に軽減しました。これで歯垢も洗浄してくれるば、歯石の付着も抑制され、細菌も減少すれば、口内環境が清潔に維持されるってことは、健康につながるのですね。。歯磨きの苦手な我が家の愛犬には、期待大の商品です。

使い始めて3年、口臭が 気にならなくなりました！

神戸市 ういるちゃん(Mダックス オス13才)



わんちゃんの
飼い主
さまの声

動物病院用の「ナチュラル・クリンforオーラル」使い始めて、3年になります。以前の我が家のワンちゃんの口臭は、ヘド口のような臭いがし、顔をそむけないと抱っこできないほどの悪臭でした。獣医さんの診断は、全身麻酔を行う歯石除去で、一年に一度は続けなければいけないとの説明で、高齢の愛犬には体力的にも負担をかけるので悩んでいましたが、この商品を進められ、だめもとで使用することにしました。最初は、朝昼晩の3回使用、2〜3日で口臭は軽減し、1週間でほぼ臭いはしなくなったのには、びっくりしました！それからは、朝晩の継続使用で、現在、口臭はせず、本当に助かっています！今度、「ナノウエル オーラルケア」の犬用が出るということで、今度はこちら也使って見たいと思います。

犬猫のデンタルケア

犬猫の日常のデンタルケアとして、歯磨きが最も効果的であることは言うまでもありません。けれども歯磨き習慣の定着という話になると、犬ではボチボチ、猫ではサッパリというのが実感ではないでしょうか。

それにとって代わるものとして、「ナノウエル オーラルケア」の口内投与が脚光を浴び、その洗浄力と抗菌作用から、大きな反響を呼んでいることはご存知の通りです。

一方、歯科療法として、犬では、定期的なスケーリングが必要不可欠ですが、必ず歯石は再付着し、目につくようになるまでの期間が短いほど、飼主の次のスケーリングのモチベーションは下がってしまいます。

また、猫では、慢性歯肉口内炎が、その診断基準も明確ではなく、病理発生も依然として不明のままで、確立された治療はなく、対症的、経験的に様々な治療が実施されているのが現状です。(下表)

口腔内 清浄化	● スケーリング ● 抗生剤(クリンダシン、ピプラマイシン、メロニダゾール、コンベニアなど) ● ラクトフェリン ● クロロヘキシジン ● 各種酵素(リゾチーム、ラクトペルオキシダーゼ、グルコースオキシダーゼなど)
抗炎症	● ステロイド剤 ● 酢酸メグステロール ● 抗炎症脂質(アンチノールなど) ● バイオフォトジェニック(ソフトレーザー)
免疫抑制	● ステロイド剤 ● 免疫抑制剤(アザチオプリン、クロラムブシル、シクロスポリン、レバミゾールなど)
鎮痛	● NSAIDs(メタカム、オンシオールなど) ● 弱オピオイド鎮痛剤(ブトルファノール、ブプレノルフィンなど) ● バイオフォトジェニック(ソフトレーザー)
その他	● 炭酸ガスレーザーによる検診部位の蒸散 ● 放射線療法 ● 全臼歯抜歯、全顎抜歯 ● インターフェロン

そんな中、「ナノウエル オーラルケア」をスケーリング後や歯肉口内炎治療に追加することで、治療効果の維持が可能になること分かってきました。

ナノ化した大豆油脂肪酸の口腔内洗浄液は、成分の大豆脂肪酸の作用により、歯垢や歯石の再付着や口腔内細菌数を減少させることで口腔内清浄作用を発揮し、日常の犬猫の歯科療法の効果をグレードアップできます。

日常のケアとして、併用療法として、「ナノウエル オーラルケア」は心強い味方です。